

／今月の実習生紹介／

ヌエ ウィン

NWET WIN さん（国籍:ミャンマー）

医療法人社団成和会 / 介護老人保健施設むくげのいえ

私は入職して1ヶ月くらいになります。今は仕事も生活も大きな問題はありませんが、初めは利用者さんの名前と顔合わせて覚えたり、利用者さん一人ひとりの習慣や対応を覚えることは難しかったです。でも、利用者さん達と一緒に体操したり、歌を歌ったりすることはとても楽しいです。

初日に利用者さん達から、ミャンマーの歌を聞きたいと頼まれて、ミャマーの歌を歌いました。これは一生忘れられないと思います。

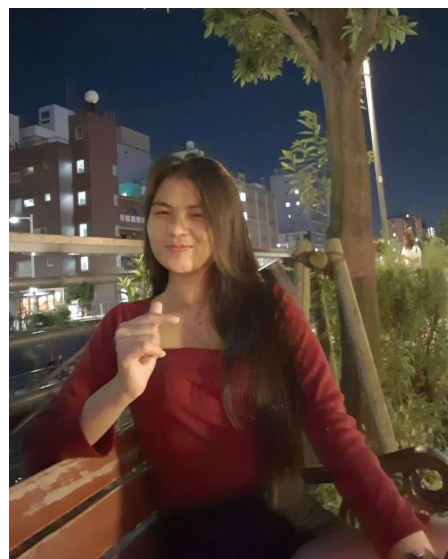
お年寄りの方をお世話することは楽しいので、将来は、日本にいる間に介護福祉士試験に合格して、ミャンマーに帰ったら介護施設を作りたいと思っています。ですから、技能実習が終わっても特定技能として延長して、たくさん介護の仕事を経験したいと思います。

日本語の勉強は、毎日一時間くらいしていきいて、日本人の先輩から教えてもらって、仕事の疲れと腰痛防止のためストレッチをしています。

休みの日は、買い物しに行ったり、近くにある神社や公園に遊びに行ったりしています。

食べ物について好き嫌いはあまりないです。食べられないお肉もないです。日本に来て変わってきたところは、以前よりやる気も出て、ルールなども守るように気をつけるようになりました。

今一番行ってみたいところは東京タワーです。



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



アイブリッジ協同組合では、結核対策として実習生が母国で行った胸部X線検査に加えて、そのX線画像を入国前に、公益財団法人結核予防会と連携し、再読影を行っています。結核予防会は、国民の疾病予防と健康増進に寄与するとともに、結核研究所を中心に世界的課題である途上国の結核対策に国際的に貢献することを目的にしています。所管は、当組合理事長が局長を担っていた厚生労働省健康局です。実習生の健康はもちろんのこと、施設の利用者様、職員様にも安心していただけるよう取り組んでいます。



アイブリッジ協同組合

所在地 : 〒103-0027

東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル9F

TEL : 03-6228-4196 FAX:03-6228-4896

URL : <https://www.ibridge.or.jp> mail: info@ibridge.or.jp



2022年9月28日発行

医療法人平成博愛会 世田谷記念病院

在職中の実習生

技能実習生数：2名
国籍：ミャンマー
入国日：2020/2/14 (2年7ヶ月)
病院の特徴：主にリハビリテーション



技能実習の採用はどのようにされましたか？

また、採用にあたってどんな実習生を採用しましたか？

組合のスタッフさんに同行してもらい、安全にミャンマーまで行って面接させてもらいました。面接で特に重要視したのは「表情（笑顔）」です。言葉が伝わらなくても、表情で伝わるのがたくさんあります。

実習生が来るまでで、心配だったことはなんですか？

心配より「期待」していました！安心して一緒に働ける環境づくりを事前に準備することが必要と考え、技能実習制度の目的や、実習生の母国の文化や習慣の勉強会をしてから実習生を迎えました。

実習生が仕事になれるまで、どのくらいかかったと感じますか？

3ヶ月目には病棟に馴染んでました。日本人と同じで、慣れるまでの時間はひとそれぞれだと思います。事前に介護技術と知識の研修をしてきてくれるのでありがたいです！

実習生が来て苦労したこと

もちろん日本語は日本人と同じようにはいきません。私たちがゆっくり丁寧に伝えるよう努力し、「理解できているかを確認する」ことで、大きな問題はおきませんでした。

実習生が来て良かったこと

日本人スタッフが、技能実習生が理解できるように、改めて介護技術・知識や接遇を見直す良い機会となり、日本人スタッフの「ケアの質の向上」につながりました！技能実習制度の価値を実感しました。ありがとうございます。



実習生を受入れている病院に

病院で働く 技能実習生

インタビューしました！

病院でも
介護福祉士の
受験要件を
満たします！

医療法人幾生会

南そらち記念病院

在職中の実習生

技能実習生数：2名(+未入国2名)
国籍：ミャンマー
入国日：2022/5/14 (4ヶ月)
病院の特徴：医療療養型病院



実習生が来るまでに病院で何か準備していたことはありますか？

通訳機を用意したり、漢字にフリガナをふった。そして日本人職員に対しては、外国人職員受入れオリエンテーションを行った。

実習生が来るまで、心配だったことはなんですか？

日本語がどのくらいお話できるか。介護をどのくらい学んできているか。

実習生が来る前と後では、ギャップはありましたか？

日本語が通じるか心配はあったが思ったよりお話できた。介護について色々と学んできていた。

実習生が来て苦労したこと

「わかりました」と返答しても理解していないことが多かった。言葉が通じない事も多くあった。

実習生が来て良かったこと

挨拶もきちんとし、仕事も一生懸命丁寧に行っている姿を見て我々職員も初心に戻り見習うところがたくさんありました。



公益財団法人慈愛会

徳之島病院

在職中の実習生

技能実習生数：3名
国籍：ミャンマー
入国日：2019/9/13 (3年満了)
病院の特徴：精神科



実習生とのコミュニケーションの中で、職員の方々が実習生に対して気をつけていることや心がけていることは何ですか？

①笑顔でのあいさつと小まめな声掛け ②ゆっくり話す ③正しい日本語を使用する ④その都度理解できたか確認フィードバック ⑤良かった点を、その日の内にフィードバック ⑥衣・食・住環境/体調に配慮

実習生が仕事になれるまで、どのくらいかかったと感じますか？

約3ヶ月くらい

病院で何か準備していたことはありますか？

①外国人介護技能実習制度とミャンマー文化風習景色などのポスター作製事前に周知 ②介護手順にふりがな振り ③業務内容にふりがなとイラスト添付 ④外国人向け介護本や、辞書準備 ⑤ミャンマー語版健康不調一覧表準備 ⑥ウェルカムボード作成 ⑦現場の介護福祉士と実習指導について情報共有 ⑧スマホに翻訳アプリインストール ⑨自転車購入 ⑩寮の共同スペース等にゴミ分別や交通ルールなどポスター掲示

実習生が来て苦労したこと

〈仕事面〉

目上の方に対する対応は、親切丁寧な為苦労はなかった

〈生活面〉

①実習生が体調不良時、休日や業務返上し病院受診に同行したり実習生優先であった(単独で受診させる事に不安もあり、実習生も依存傾向な時期があった) ②ゴミ分別が細か過ぎ、確実に分別できるまで時間を要した ③環境の変化か水が合わないのか、便秘や肌荒れ、頭痛、スマホネック(母国とのやり取りや、学習のために利用時間が長くなりがち)

実習生が来て良かったこと

①介護福祉士、看護師、ナースエイドにとって「教えること」の楽しさや難しさを感じ取ってもらえ良い刺激となった。 ②介護マニュアルを見直すきっかけとなった ③実習生の慈愛の精神は病院理念にも通じ、見習うところや初心に戻る機会が多くあった ④地元の方たちとも交流し3年間島での絆が沢山できた ⑤ミャンマーのお正月には民族衣装を着て、母国料理を配り歩く姿が印象的で律儀に感じた ⑥実習生より、日本語はミャンマー語と文法が同じなので理解しやすいとの反応あり

